

小雪に始まった今年の冬も、雪景色が例年の厳かさを取り戻しました。資源としての雪の価値を再認識しながら、春が待ち遠しい！

☆ ☆ ☆ ☆ ☆  
◆鉄のアーティスト

「鉄は熱いうちに打て」と言いますが、鉄が熱してやわらかいうちは、打っているうちに形にできることからできた言葉だといわれています。鋭く光る刀や、巨大な建造物を支える頑丈な鉄骨、時がたつて浮き出てきた錆びびび…製法や時間経過によって、鉄には様々な異なる表情があります。それらを巧みに使い分け、制作する彫刻家の霜鳥健二さんの個展



霜鳥健二氏の作品「Square-15」

◆オイルシンドローム Part 3  
 昨今の話題では、油を変えることによってより健康になれるようだ。何冊か本を読んでみると、トランス脂肪酸の入った食品は避けたいほうがいいようだ。その代表的なものがマーガリンというので驚いた。大量に摂取しているアメリカでは、すでに法律で規制の動きがあるようだ。  
 また、摂ったほうが良い油の筆頭が「オメガ3」系の油という。興味を持ち、さらに調べると、なぜオメガ3なのかが垣間見えてきた。単純化していうと、この油を摂ると体内でDHA・EPAに変化するという。ご存知の通りこれらは魚に多く含まれ、サプリメントも出回る定番の栄養素。昔の日本人は魚を沢山食べていたので十分摂れていたが、最近では不足しがちらしい。  
 DHA・EPAは体内で脳を活性化し、細胞膜をつくるのに重要な働きをする。そして

を3月3日から4月4日まで開催いたします。霜鳥健二さんは、1955年南魚沼市生まれの彫刻家です。埼玉県立美術館「現代美術の祭典」で大賞を受賞したり、大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレをはじめ現代アートの展覧会に多数出品、また弥彦野外アート展の企画をされたり、現代美術家として大変精力的に活動しておられます。  
 今回の個展では、霜鳥さんがこれまで制作してきた作品のなかから、代表的なものを展示いたします。ぜひご高覧ください。  
 (広田かおり)

血液をサラサラにし、動脈硬化や心筋梗塞を防ぎ、老化を防止するという。また、うつ症状を軽減したり、高血圧の抑制効果もあるらしい。摂取する油を変えるだけで得るものは多いようだ。  
 (岡西英孝)

◆新幹線いろいろ

学生時代に帰省する時、上越線特急「とき」と急行「佐渡」を利用していました。上越新幹線の開通で特急と急行の廃止が決まり、最後に列車に乗車した時に車内でアンケート調査が行われました。乗り慣れた電車がなくなるのが寂しく、名前だけでも残してほしいと記入しました。その後に上越新幹線が開業し始めて乗車した時には、スピードと静かさ到大変驚きました。テーブルの上の飲み物は揺れでこぼれることもなく、本を読んでいても全く乗り酔いを感じないで快適な時間を過ごすことができました。

来春から走る美術館「GENBI SHINKANSEN」のお披露目のニュースがありました。新潟―湯沢間の臨時列車で、車内で現代アートを鑑賞できる観光列車の運行が予定されているそうです。絵画や彫刻、写真を展示し、新潟県の素材にこだわったスイーツやコーヒーを提供するカフェも出店すること。移動の手段だけでなく、新幹線の新しい楽しみ方ができそうで、今からワクワクしています。  
 (佐藤良子)

◆たった一つの趣味

いきなりですが、私はプチ旅行が大好きです。お金もないのによく行きます(笑)。一泊二日で長岡、柏崎、近県では群馬など。思えば立ったら即行動になるため、振り回される家族も大変です。ネットでホテルの予約を入れるのですが、間際に安く予約が取れた時には、すごく得をした気分になります。仕事終わりで夕方からふらっと泊まりに行ったり、

一泊の予定を急遽、二泊にしたりなんて時もあります。夏はやはり海の近い施設、冬は温水プールと温泉のある施設が気に入っています。その施設には年に数回泊まりに行っています。でも、なんといっても最高の旅行はデイズツーリゾートへの旅！毎年一回は必ず行っています。当日、入場制限がかかる場合もあるので、事前にコンビニでしかも日付指定でパークチケットを購入し、少しでも安くそして近くにと必死にホテルを探します。

◆冬の日  
 申年を迎え、昨年に比べて雪が少ないねーと、張り合いのない毎日を送っていたら、寒気団の襲来でド大雪となり、あつという間に美術館は白い世界に囲まれてしまいました。シャーベット状になった池はうつつすらとした墨色が美しく、二羽のアヒルが吹雪に耐えているのでしょうか、身動きもせずじっとしたままです。大きなガラス窓から見える公園の風景は静謐として、飽きることがありません。そんな冬の一日のこと、当館設立にご尽力いただき、いまは評議員を務めていただいている島田繁富氏が長年の地方自治への貢献によって旭日雙光章を受章され、その祝賀会が開催されました。厳粛ながらも楽しい会でした。今後ともお元気で、当館運営にお力添えをお願いいたします。  
 (館長 高橋良一)



霜鳥健二氏の作品「Ashitaki-再生-II」

## 作品展（鉄）を開催するにあたり

霜鳥健二

池田記念美術館で展覧会を開催するにあたり、私の心は緊張感に包まれています。私は学生時代、一人の野球選手（王貞治）に熱中し、彫刻制作よりその選手の絵を描いたり、「週刊ベースボール」を読むことを楽しみにしていた頃がありました。当館は野球界に大きな功績を残している週刊ベースボールの創刊者・池田恒雄氏ゆかりの美術館であり、私の中では簡単には踏み込むことのできない神聖な場として存在しているのです。

鉄は大学の実材実習を経験する中で私との相性が一番良かったこともあり、卒業後は一貫して鉄を素材に制作を続けています。鉄は石や木といった自然素材とは異なり、鉄鉱石から人が創り出した二次素材で、人の手を経た優しさ、温かさ、そして美しさを内包しています。作品制作においては、鉄の持つ素材感を柱に据え、鉄らしい形態の表出に取り組んでいます。

今展は、自身の道程を再確認する場にしたと考えると、これまで制作してきたシリーズの中から数点ずつを選び提案することになりました。私と皆様とが、作品（鉄）を通して思いを共感できれば幸いです。（燕市在住）



昨年末の近江旅行にて

## 池田記念美術館 展覧会&amp;イベント情報

## ■冬季特別展示—後藤はつの 112歳の絵画展—

◎2階特別展示室 ◎期間：3月21日（月・振休）まで

妙高・赤倉温泉出身、81歳から99歳まで100号の絵を描き続けた後藤はつのさんは、112歳のスーパーレディです。展覧会では、作品22点を特別展示中です。

## ■魚沼ベストショット展 Part V

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：1月22日（金）～2月28日（日）

魚沼に魅せられた写真家40人が自慢のベストショットを出展中です。写真による魚沼賛歌！

■初心者向け写真教室 2月7日（日）13:00～15:00 ※参加費無料、要デジカメ

## ■霜鳥健二彫刻展—鉄—

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：3月3日（木）～4月4日（月）

1955年、南魚沼市生まれ。82年に新潟県「県展賞」を受賞。以後、全国各地の彫刻展に鉄を素材にした作品を発表している霜鳥健二氏の作品展です。約30点を展示します。

■作品解説会 3月19日（土）14:00～

## ■特別展示—武器をアートに ARMS INTO ART—

◎2階特別展示コーナー ◎期間：3月3日（木）～3月29日（火）

長く内戦が続いたモザンビークでは1992年の内戦終了後、「武器を鉄に」のプロジェクトのもと、武装解除された武器が回収・解体され、アーティストの手によって多くの作品に生まれ変わりました。今回、国際大学との共催で15点の作品を特別展示いたします。

## ■常設展

「日本美術展示室」ラゲザ・玉、會津八一、星襄一、良寛、北越雪譜などを展示中です。「小泉八雲展示室」小泉家秘蔵の直筆原稿や公文書、家族との書簡などを紹介します。「スポーツ文化展示室」野球、相撲、オリンピックを中心としたコレクションです。

## ◎他のイベント情報

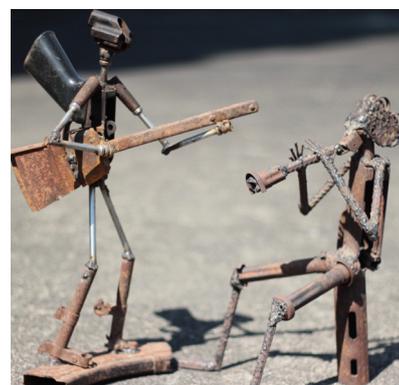
■厚木男声合唱団ミニコンサート with 橘光一 2月13日（土）14時30分開演 ※入場無料です

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」※入場無料です

2月28日（日）11:30～ ピアノとフルート 14:00～フォークソング



1月23日に開催されたベストショット展の作品解説会は多数の来場者で賑わいました



特別展示「武器をアートに」で公開予定の作品。「ギター演奏者 NO.2」と「笛を吹く人」

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）  
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815  
【開館時間】9:00～17:00（入館受付は16:30まで）  
【入館料】一般 500円 高校生以下無料  
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

## 【2月の休館日】

※水曜日（3日、10日、17日、24日）  
※28日（日）は最終日のため15時閉館となります。  
※29日（月）は展示替えのため休館します。